
Press Information

VPR21-056

2021年12月20日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

新たなフォルクスワーゲン グループ ジャパンが誕生

フォルクスワーゲン、アウディ、ベントレー、そしてランボルギーニの4ブランドを一つの法人の下に再編

独フォルクスワーゲン グループ傘下で、フォルクスワーゲン AG の日本法人であるフォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:マティアス シェーパース、本社:愛知県 豊橋市、略称:VGJ)と、同様にグループ傘下であり、アウディ AG のインポーターであるアウディ ジャパン 株式会社(代表取締役:マティアス シェーパース、本社:東京都品川区、略称:AJ)は、2022年1月1日(予定)を効力発生日として、フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社を存続会社とした吸収合併を行うことにいたしましたのでお知らせします。なお、2021年11月16日付で合併公告を行っております。

現在、VGJ の下で輸入販売されているフォルクスワーゲン及びベントレー、そして AJ の下で輸入販売されているアウディとランボルギーニの4ブランドを、一つの法人の下に再編する動きは、フォルクスワーゲン グループが世界各国で展開している戦略の一環です。今後、各ブランドにはブランド ディレクターが就任し、その指揮の下で活動を行います。

2022年1月1日に予定されている合併の後、現在 VGJ 代表取締役社長であるマティアス シェーパースは、その職を継続しながら、アウディ ジャパンのブランド ディレクターとなります。ベントレー モーターズ ジャパン及びランボルギーニ ジャパンは引き続き、それぞれのブランド責任者である牛尾 裕幸とダビデ スフレコラが率います。フォルクスワーゲン ジャパンのブランド ディレクターは、現在フォルクスワーゲン グループ イタリアでフォルクスワーゲン セールス ディレクターを務めているアンドレア カルカーニが2022年1月1日に就任する予定です。

VOLKSWAGEN

GROUP JAPAN

■ 合併について

1. 合併の目的

自動車によるモビリティは、現在大きな変革を求められています。電動化やデジタル化など、未来のニーズに確実に応えられるよう、グループとしてのシナジーを生かしたビジネスモデルを展開しながら、お客様に魅力的なモビリティを提供できるよう傘下ブランドをより輝かせるのが狙いです。

2. 合併の日程

効力発生日 2022年1月1日(予定)

3. 合併の方式

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社を存続会社とし、アウディ ジャパン 株式会社を消滅会社とする吸収合併です。アウディ ジャパン 株式会社の社員は、フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社に転籍します。

4. 合併の当事会社の概要 (2021年12月20日現在)

・ 存続会社

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

- (1) 商号:フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社
- (2) 事業内容:フォルクスワーゲン及びベントレー製品の輸入卸
- (3) 所在地:愛知県豊橋市明海町 5番地の10
- (4) 代表者:代表取締役社長 マティアス シェーパース
- (5) 資本金:231億7,410万円(2021年12月20日現在)

・ 消滅会社

アウディ ジャパン 株式会社

- (1) 商号:アウディ ジャパン 株式会社
- (2) 事業内容:アウディ及びランボルギーニ製品の輸入卸
- (3) 所在地:東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー16階
- (4) 代表者:代表取締役 マティアス シェーパース
- (5) 資本金:56億506万2,600円(2021年12月20日現在)

